

SDGsへの取り組み

近年、国連の提示するSDGsが注目を浴びています。SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2030年までに達成すべき国際社会共通の目標です。
私たちも5つのゴールの課題解決の一助となるべく、社会福祉という分野の中で、皆さまとともにさまざまな社会課題を解決していきたいと考えています。

- ゴール1： 貧困をなくそう
- ゴール3： すべての人に健康と福祉を
- ゴール4： 質の高い教育をみんなに
- ゴール16： 平和と公正をすべての人に
- ゴール17： パートナリシップで目標を達成しよう



■■企業の皆さまへ■■

社会的養護を必要とする母子や高齢者、子どもたちへのご支援は寄付だけに限らず、住居として使用している施設内設備のメンテナンスや、本やおもちゃなどの物品提供、子どもたちの体験型活動のご提供など多岐にわたります。皆さまの社会貢献ポリシーに応じて柔軟に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

ご支援の方法

寄付で応援

共生会では、広くご寄付のお願いをしています。共生会が運営する各施設で暮らす方々、また社会に巣立とうとする子どもたちを応援してください。お振込みやクレジットカード決済、また施設ごとへのご支援も受け付けておりますので、是非ご相談ください。



物品で応援

電化製品や家具・オフィス用品、車輛などの施設設備のほか、食品や子どもたちの遊具、医療消耗品など、さまざまな形のご協力を受け付けています。金銭以外のご支援方法について、是非ご相談ください。
※ウェブサイト「欲しいものリスト」を公開しています。



遺贈寄付



大切な資産やその一部について遺贈寄付のご相談を受け付けています。遺贈寄付には公的な書類の作成などがありますので、専門機関をご紹介します。お気軽にご相談ください。

- 当法人へのご寄付は、確定申告時に申告することで税の優遇を受けることができます。



◀ 寄付についてはこちら



社会福祉法人共生会

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1-12-17
TEL：03-5671-1280 FAX：03-5671-1285
Mail：info@swc-kyouseikai.org ホームページ：https://www.kyouseikai.com/



社会福祉法人共生会

2025年度 年次報告書



「夏のお楽しみ会」でヨーヨー釣りに挑戦するこどもたちの様子



地域共生社会の核として、未来へつなぐ

共生会は、子どもたちの健やかな成長から、母子の自立、そして高齢者の穏やかな暮らしまで、まさに「人生のすべてのステージ」に寄り添う役割を担っています。社会情勢が目まぐるしく変化し、福祉ニーズが多様化・複雑化する今、私たちが一丸となって地域共生社会の核としての役割を果たすことが、これまで以上に強く求められています。

令和7年度におきましては、施設間の垣根を越えた「顔の見える連携」をさらに深めるとともに、福祉のプロフェッショナルとして常に学び、感性を研ぎ澄ませていくことを目指してまいりました。「ここにこの共生会があって良かった」と地域から信頼され続ける存在であり続けるため、守るべき伝統は守り、変えるべき仕組みは柔軟に変えてまいります。

これまでの歩みを支えてくださった地域の皆様、関係機関、そして多大なるご支援を賜りました皆様に、心より深く御礼申し上げます。また、日々刻々と変化する現場において、高い志を持って業務に邁進する全職員に対し、改めて心からの感謝を伝えたいと思います。

今後とも、社会的養護を必要とする子どもたちや、福祉課題に向き合う地域の方々に、深い愛情と専門性に裏打ちされた質の高いサービスを提供できるよう、職員一同、より一層の研鑽を積んでまいります。

引き続き、皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

理事長 福島 俊彦

想いを、気持ちを、想像する

昭和25年11月5日付の地域新聞に「計拾参萬八千六百七〇円が集まったので、各婦人会長、関係者による建設委員会が本年中に何とかしなければということになり、星野工業に折衝を重ねた」とあります。同年12月2日に木造平屋建の希望の家が完成しました。しかし、施設の基準を満たせず無認可でした。ドッジラインによる緊縮財政のもとで、昭和25年の138,670円の寄金、寄せられた皆さんの想いはどのようなものだったのでしょうか。

アンパン・ジャムパンが10円、食パン一斤23円（週刊朝日編「値段の風俗史」による）の時代です。23円で屑鉄1貫目（=3.75kg）買入れるという広告も地域新聞にありました。そのような時代の寄金です。

「知」が広がり深まることで、想像する力は確かなものになっていきます。利用者の気持ち、言葉や表情・態度とその背景にある生活面・経済面や精神面の状況、知識がないと見えてこない事柄があります。ですから私たちは知識や経験を寄せ合い、不足を補い合い、チームの総合力を発揮することが求められます。気持ちを想像して相手の身体感覚に適合する言動や対応が可能になると思います。

現在直面している問題は初めてのものが多いと思います。年齢や経験の違いに関係なく一緒に想像することが可能です。考えることができます。他者の知見に学びながら、総合力を発揮して進みましょう。

副理事長 岡 正雄

児童養護施設

希望の家

松風荘

伊豆長岡学園

江戸川つむぎの家

母子生活支援施設

ふたばホーム
ふたば学童／第二ふたば学童保育クラブ

江戸川区そよ風松島荘

認可保育所
(夜間保育)

白鳥ふたば保育園

特別養護老人ホーム

東四つ木ほほえみの里

地域包括支援
センター

地域包括支援センター
東四つ木・立石分室

学童保育クラブ

《千代田区・アフタースクール》
さくら／さくら第二／こうじ町

《葛飾区・学童保育クラブ》
松上／第二松上
上小松



■児童養護施設「希望の家」

退所後もつながり共に歩む

子どもが退所した後の繋がりを大切にしました。担当職員と自立支援担当職員が連携し来園、訪問、連絡等様々なツールで関係性を保つ工夫をしました。卒園生が集まる会も企画しました。

■児童養護施設「松風荘」

温かいお力添えをいただき、一年を過ごすことができました

物価高という厳しい状況の中でも、多くのご支援に支えられ、育ち盛りの子どもたちがのびのびと日々を過ごすことができました。地域の皆さま、支援者の方々、教育機関・関係機関の皆さまの温かいご理解とお力添えに、心より感謝申し上げます。

■児童養護施設「伊豆長岡学園」

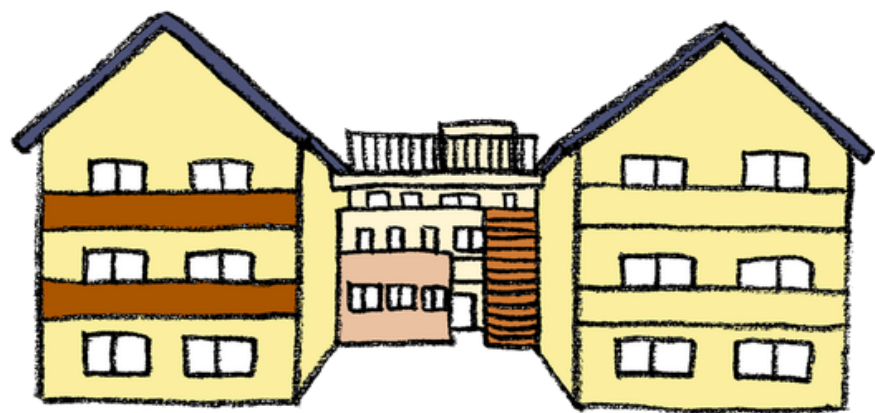
心理的安全性の高い施設運営を目指しています

「伝え方」を児童と職員の共通目標とし、10月には心理的安全性の園内研修を実施しました。

■児童養護施設「江戸川つむぎの家」

挑戦

2025年度は大阪・関西万博への高齢児引率、初めての卒園生、児童自立生活援助事業Ⅱ型の開設、地域向けイベント初開催、つむぎ農園の開始等、子どもたちと共に考え、新たなことに挑戦する1年となりました。



■母子生活支援施設「ふたばホーム」

■ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ

新しい試み

母子生活支援施設2施設の職員共同企画として、「ひがしんアリーナ」の体育館を借り、午前中は在所家庭&退所家庭を招待してスポーツレクを実施。午後は学童保育クラブのこども達が利用しました。みんなで良い汗を流し、スッキリ・にっこりしました。

■母子生活支援施設「江戸川区そよ風松島荘」

つながり

入所や退所により、新たな環境で生活する利用者が多くいましたが、行事やイベント、日常生活の中で利用者同士の交流が多く生まれました。ボランティアや地域の方からもたくさん支えていただき、人と人の「つながり」のあたたかさを感じた1年でした。

■認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

外も中もピカピカ

外壁修繕に加え、園舎内の壁紙、カーテン、LED電球等をきれいになりました。「きれいになったね」「明るくなった」と子ども達からの声がたくさん聞かれ、なかでもトイレの壁紙は好評でした。

■特別養護老人ホーム「東四つ木ほほえみの里」

■地域包括支援センター 東四つ木・立石分室

共に成長！

ほほえみの里では22名、地域包括支援センターは6名の実習生を受け入れたことで、実習生のみならず、職員にとっても成長の機会となりました。その成長の機会を与えてくださっている地域の高齢者のみなさまに感謝申し上げるとともに、今後も地域連携の強化を図ってまいります。

■学童保育クラブ 千代田区・葛飾区

より良い学童運営を目指して

今年度は学童間での交換研修や職員の交流機会を増やし、他事業所の現状や課題を共有しました。時間をかけて話し合うことにより、支援員としての資質を高め利用者の皆さんに還元できるよう努めました。

写真で振り返る2025年度



休日の一コマ
(松風荘)



クリスマス会の豪華メニュー
(白鳥ふたば保育園)



敬老お祝い膳
(東四つ木ほほえみの里)



クリスマス会
(伊豆長岡学園)



ハロウィンのいなり寿司と
味噌玉作り
(江戸川区そよ風松島荘)



夏祭り
学童の一大イベントです！
(学童保育クラブ)



進級・進学する子どもたち！
成長がとても誇らしいです。
(江戸川つむぎの家)



母の日のカーネーション
(ふたばホーム)



思い出のベビー服を
くるみボタンにリメイク♪
(江戸川区そよ風松島荘)



久しぶりの手作りおやつ
「ベビーカステラ」
(ふたば・第二ふたば学童保育クラブ)



第52回高齢児合宿研修
(テーマ：お金について)
(希望の家)

児童養護施設

児童養護施設とは

児童福祉法に基づいて、乳児を除く保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する自動をお預かりして養護し、あわせて退所した子どもたちに対する相談、その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設です。



希望の家

東京都・葛飾区 定員：36名
＜ユニット2棟・グループホーム4か所＞

希望の家はたくさんの方々に支えられ成り立っています。子どもを第一に考え、安心と安全が守られた、家庭的な温かい環境を提供できるように職員一同努めています。ショートステイ事業や家庭訪問型子育て支援事業をはじめとした、地域の子育て支援の取り組みも行っております。

TOPICS

他施設と結成したサッカーチームの一員として、ポーランドで開催されたワールドカップに日本代表として出場しました。



様々な支援者の方々が子ども達や卒園生を行事に招待して下さり、交流を持つことができました。（ボーリング大会）



卒園生が集まれる交流会Pont（ポン）を2回開催。計13名の卒園生が交流会に参加してくれました。



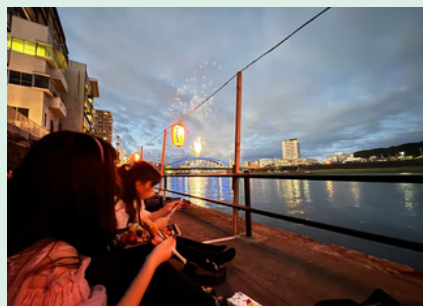
松風荘

静岡県沼津市 定員：30名
＜本園・グループホーム3か所＞

1945年の開設以来、81年にわたり地域の皆さまのご支援をいただきながら歩んできた施設です。市街地を離れると海と山に囲まれたのどかな環境の中で、子どもたちは穏やかに生活を送っています。地域の役員などを務め、地域の方々とともに子どもたちを育てています。

TOPICS

沼津夏祭り花火大会で夏の思い出ができました。



静岡県東部の中小企業同友会様よりご支援をいただき職場体験ができました。



春の行事でスキーやそり遊びをしました。



伊豆長岡学園

静岡県伊豆の国市 定員：48名
＜本園5ユニット・グループホーム2か所＞

「大切にされていると実感できる場所」を理念の柱とし、「ここに来てよかった」「あなたに会えてよかった」と子どもたちが実感できるような施設づくりを目指しています。都の運営から共生会の運営になり早19年が経過し、地域の皆様やご支援者様に支えられた施設になってきました。

TOPICS

昨年に続いて江戸っ子杯ドッジボール大会で優勝することができました。子どもたちは感動して涙を流していました。



ルート産業株式会社社長の伊藤様のお計らいで、卒園生2名と施設長と担当職員とで熊本に卒園記念旅行ができました。



2年連続、運動会を地域の小学校の体育館を借りて開催しました。今年も大変楽しい運動会になり青組が優勝しました。



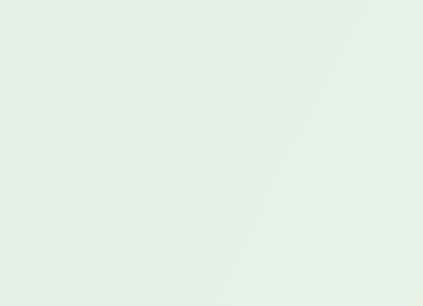
江戸川つむぎの家

東京都・江戸川区 定員：本園定員24名、Ⅱ型定員1名
＜本園/ショートステイ・トワイライトステイ/児童自立生活援助事業Ⅱ型＞

2歳から大学生まで幅広い年齢の子どもたちが幼稚園、小学校、中学校、高校、大学に通いながら穏やかに日々楽しく生活できるように職員一同チーム支援を行っています。またショートステイ・トワイライトステイ事業を通して地域支援にも力を入れています。

TOPICS

大阪・関西万博に行ってきました。



つむぎ農園で沢山の作物が採れました。



2月より児童自立生活援助事業Ⅱ型を開設しました。



※写真はイメージです

母子生活支援施設とは

児童福祉法に基づいて、18歳未満のお子さんのいる母子家庭等が生活できる施設です。母子の自立に向けて、子育てや生活のお手伝いをはじめ、退所した後もご相談に応じています。



ふたばホーム
ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ

東京都・葛飾区
ふたばホーム：定員20世帯
ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ：定員80名

お母さんと子どもたちがいつも笑顔で、安全で安心した生活ができることを大切にしているふたばホーム。ふたば学童保育クラブ、第二ふたば学童保育クラブを併設しており、地域の子育て支援を担えるように努めています。

■TOPICS



親子で八景島シーパラダイスへ行きました。初の試みとして、飲食店で使用できる食券を配布しました。



区内に退所した家庭へ弁当を配布しました。母の負担軽減もありますが、みな様とお会いできる素敵な機会となりました。



コロナ禍以降初となる保護者懇談会を開催しました。会の後、親子でボードゲームや昼食交流を楽しみました。



江戸川区そよ風松島荘

東京都・江戸川区 定員：20世帯

利用者に寄り添い「大切にされている」と思われるような関りを大切にしています。建物は築56年が経ち共有部分が多い等の不便さもありますが、利用者の皆さんからアイデアを頂きながら、少しでも快適に生活ができるように工夫しています。

■TOPICS



乳幼児行事でお出かけをしました。普段とは違う環境でたくさん身体を使って遊ぶことができました。



こどもたちの手形・足形アートを作り掲示しました。楽しみながら成長をみんなで共有しました。



お母さんの誕生日のお祝いにこどもと一緒に花をプレゼントしています。皆さんとても喜んでくれました。

学童保育クラブ・認可保育園・特別養護老人ホーム

子どもからお年寄りまで、地域の皆様と共に生きる地域密着の日々行なっています。
すべての利用者の方のケアニーズに応えられるよう、専門性と質の高いサービスを提供出来るように心がけております。



学童保育クラブ

(葛飾) 松上学童保育クラブ70名 第二松上学童保育クラブ70名
上小松学童保育クラブ63名
(千代田) アフタースクールさくら65名 アフタースクールさくら第二45名
アフタースクールこうじ町50名

葛飾区に3学童、千代田区は3学童と放課後子ども教室の事業を受託・運営しています。放課後の子どもたちの居場所として安全・安心に過ごすことのできる環境を提供しています。小学校の校庭などを使い、自由に遊ぶことができ、多彩な行事も企画しています。

■TOPICS

夏休み期間中、学校の体育館をお借りしてバレーチャンバラ大会を行い思いきり体を動かしました！



室内アスレチックパークに行きました。体験したことのない遊具がたくさんあり、中でもボルダリングが大人気でした。



認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

東京都・葛飾区 定員：36名

0歳児から5歳児まで1クラス6名ずつの小さな保育園です。
3歳児から5歳児は異年齢保育を実施し、兄弟姉妹のような子ども同士の関りを大切にしています。
夜間保育を希望するお子さんには、美味しい夕食を提供します。

■TOPICS

毎朝門の前に大型バスが止まります。運転手さんとの「バイバイ！」のやりとりは見守る私達も幸せになります。



雪がちらつく外の様子に興味深々子ども達。「ゆきだるまつくろうね」と話す微笑ましい後ろ姿です。



町会から臼と杵をお借りし、餅つき会をしました。「がんばれ！」と応援を受けながら杵を持つ表情は真剣でした。



特別養護老人ホーム「東四つ木ほほえみの里」

地域包括支援センター東四つ木・立石分室

特別養護老人ホーム：123床
ショートステイ：7床

特別養護老人ホームとは、常時介護を必要とし、在宅での生活が困難な高齢者に対して、生活全般の介護を提供する施設です。平成10年開所以来、利用者が安心して生活できるように、ふれあいを大切にしています。
地域包括支援センター東四つ木・立石分室は、平成18年より葛飾区から事業を委託されています。通称名「高齢者総合相談センター」として、より区民に分かりやすく身近な相談窓口として活動しています。

■TOPICS

施設内でクリスマス会。サンタとトナカイが各フロアを訪問しました。



納涼祭ではお祭りの出店にあるようなメニューを提供。とってもいい笑顔。職員による余興も楽しんでいただきました。



地域のお祭りに参加。地域包括支援センターのPRをし、地域の様々な方々と顔の見える関係作りに取り組みしました。



2025年度決算書類

法人単位資金収支計算書（抜粋版）
（自）令和7年4月1日（至）令和8年3月31日

勘 定 科 目			予算(A)	決算(B)	(単位：円) 差異(A)－(B)
事業活動 による収支	収入				
		事業活動収入計(1)	3, 206, 413, 275	3, 227, 699, 034	△21, 285, 759
	支出				
		事業活動支出計(2)	3, 062, 400, 403	3, 025, 712, 693	36, 687, 710
		事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)	144, 012, 872	201, 986, 341	△57, 973, 469
施設整備等 による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	92, 469, 000	105, 014, 000	△12, 545, 000
	支出				
		施設整備等支出計(5)	148, 739, 555	151, 018, 515	△2, 278, 960
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)	△56, 270, 555	△46, 004, 515	△10, 266, 040
その他の活動 による収支	収入				
		その他の活動収入計(7)	116, 146, 042	112, 114, 654	4, 031, 388
	支出				
		その他の活動支出計(8)	165, 271, 024	200, 313, 748	△35, 042, 724
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)	△49, 124, 982	△88, 199, 094	39, 074, 112
		予備費支出(10)	11, 146, 746 0	—	
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)	27, 470, 589	67, 782, 732	△40, 312, 143
前期末支払資金残高(12)			995, 312, 657	995, 312, 657	0
当期末支払資金残高(11)+(12)			1, 022, 783, 246	1, 063, 095, 389	△40, 312, 143

法人単位貸借対照表（抜粋版）
令和8年3月31日現在

(単位：円)			
資 産 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	1,168,088,826	1,138,334,471	29,754,355
固定資産	3,826,511,055	3,728,595,372	97,915,683
資産の部合計	4,994,599,881	4,866,929,843	127,670,038
負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	191,322,262	224,574,700	△33,252,438
固定負債	122,490,238	115,520,854	6,969,384
負債の部合計	313,812,500	340,095,554	△26,283,054
純 資 産 の 部			
基本金	619,777,986	619,777,986	0
国庫補助金等特別積立金	1,268,365,968	1,244,089,311	24,276,657
その他の積立金	1,006,374,085	929,097,407	77,276,678
次期繰越活動増減差額	1,786,269,342	1,733,869,585	52,399,757
（うち当期活動増減差額）	129,676,435	166,411,260	△36,734,825
純資産の部合計	4,680,787,381	4,526,834,289	153,953,092
負債及び純資産の部合計	4,994,599,881	4,866,929,843	127,670,038

法人単位事業活動計算書（抜粋版）
（自）令和7年4月1日（至）令和8年3月31日

		(単位：円)		
勘 定 科 目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
サービス活動 増減の部	収益			
		サービス活動収益計(1)	3,208,481,699	3,150,749,340
	費用			
		サービス活動費用計(2)	3,040,852,883	2,978,722,067
	サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)	167,628,816	172,027,273	△4,398,457
サービス活動 外増減の部	収益			
		サービス活動外収益計(4)	19,217,335	22,111,351
	費用			
		サービス活動外費用計(5)	13,471,371	13,769,021
	サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)	5,745,964	8,342,330	△2,596,366
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	173,374,780	180,369,603	△6,994,823
特別増減の部	収益			
		特別収益計(8)	108,176,258	30,350,274
	費用			
		特別費用計(9)	151,874,603	44,308,617
	特別増減差額(10)=(8)－(9)	△43,698,345	△13,958,343	△29,740,002
	税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	129,676,435	166,411,260	△36,734,825
	法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0
	法人税等調整額(13)	0	0	0
	当期活動増減差額(14)=(11)－(12)－(13)	129,676,435	166,411,260	△36,734,825
繰越活動増減 差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	1,733,869,585	1,700,358,325	33,511,260
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	1,863,546,020	1,866,769,585	△3,223,565
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	100,765,322	3,000,000	97,765,322
	その他の積立金積立額(19)	178,042,000	135,900,000	42,142,000
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)－(19)	1,786,269,342	1,733,869,585	52,399,757

本決算書類は「法人単位」のものであり、抜粋版です。
詳細は、各ウェブサイトをご覧ください。

